06.10.24

今月の経済・金融情勢

～わが国をめぐる経済・金融の現状～

2006年10月

農林中金総合研究所

調査第二部　経済金融Ⅰ班

http://www.nochuri.co.jp/weekly/weekly.html

経　済　金　融　・　情　勢　資　料　　１　８　年　１　０　月

1.　原油価格は、米国の成長減速観測が広がるなか、石油在庫の増加などを材料に下落基調が続き、10月23日にはWTI（期近物、終値）が1バレル＝56.82ドルまで下落。しかし、その後はOPEC（石油輸出国機構）による協調減産が合意されたことなどから、下げ止まりの動きも見られる。当面はOPECによる高値維持のスタンスのほか、中国・インドなど新興国の高成長による原油需要増加が持続していることもあり、基本的に原油価格の減産合意に示される高止まりが予想される。

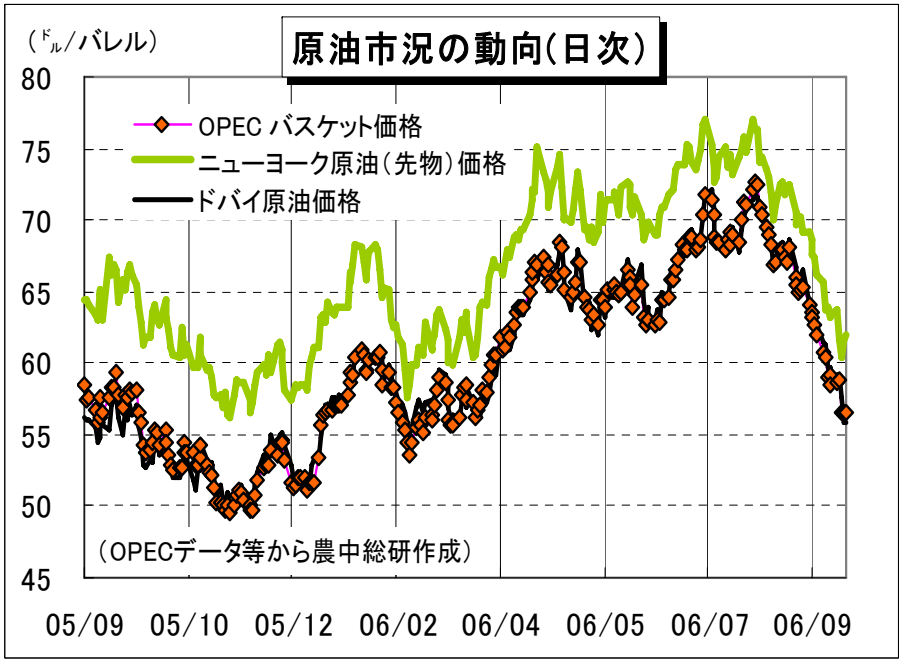
2.　米国経済は堅調な拡大を続けてきたが、雇用者数の伸びが緩やかになっているほか、住宅着工・販売も減少しており、景気減速の兆しが見られる。一方、消費は緩やかに増加し、設備投資も増加、インフレ圧力は原油反落により緩和している。06年10月調査によれば、米国エコノミストは成長率が緩やかに弱まると見込んでいる。一方、米政策金利は8月8日に続き9月20日も5.25%に据え置かれ、米政策当局は景気減速がインフレ圧力を緩和するかどうか見極める姿勢を示している。米利上げ終結観測が強まるなか、今後の物価・経済見通しの変化（①米経済がどの程度まで減速するか、②物価の落ち着き）次第では利下げ局面入りも予想される。なお、米長期金利は先行き景気鈍化見通しがやや後退したことから4.7%台後半に上昇して推移している。

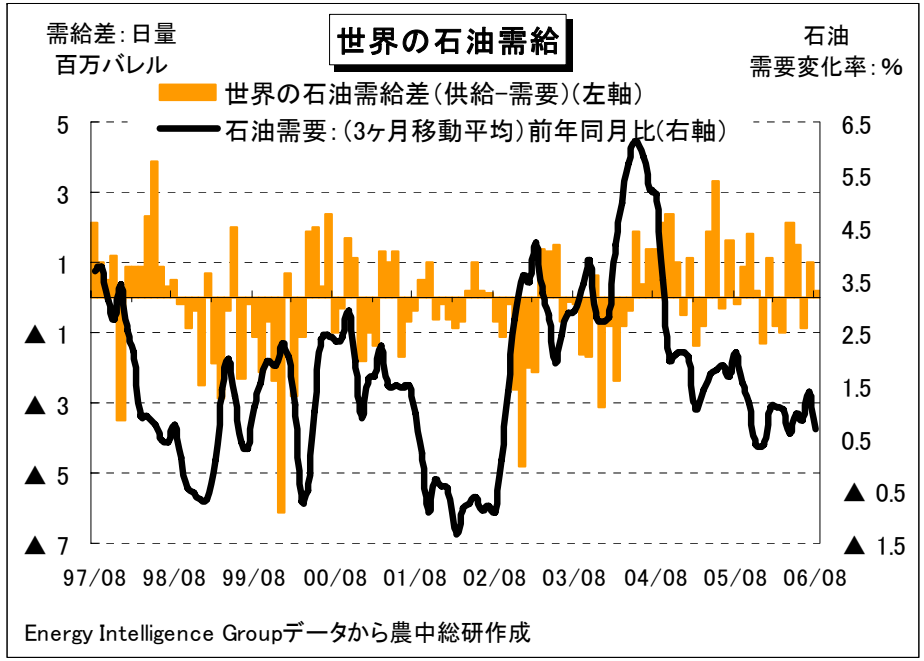
3.　わが国では、企業部門の好調さに支えられ、緩やかな景気回復が続いている。足下8月の鉱工業生産は、自動車輸出や電子部品出荷が好調となり、2ヶ月ぶりに前月比プラスとなった。先行き9月は小幅減少、10月は再増加する見通しだが、電子部品・デバイス工業の在庫が積み上がっていることが懸念される。一方、設備投資は企業収益の拡大を受け増加しており、先行指標となる機械受注（除く船舶・電力）は8月に2ヶ月ぶりに増加したが、7～9月期の見通し（前期比＋4.9%）達成は困難とみられる。家計部門や地方への景気回復の成果の波及は緩やかであり、回復実感の薄さを指摘する声も多い。

4.　外国為替市場では、米景気減速観測の一方、日銀の追加利上げ観測の後退に加え、北朝鮮による地下核実験に絡む地政学リスクの高まりもあり、1ドル＝117～119円台と円安方向で推移している。一方、欧州中央銀行による追加利上げ観測の高まりから対ユーロでは円安が進み、円は最安値圏で推移。日本の長期金利の目安である新発10年国債利回りは、日銀総裁が年内追加利上げの可能性を否定しなかったことや株価上昇もあり1.8%台に小幅上昇。日経平均株価は米国株高等に支えられ、10月下旬には16,700円台を回復。

5.　政府は10月の「月例経済報告」で景気判断を「回復している」と8ヶ月連続で据え置き。日銀も10月の景況判断を「緩やかに拡大」と4ヶ月連続で据え置いた。02年2月に始まった今回の景気拡大は06年10月で57ヶ月目となり、戦後最長のいざなぎ景気（1965-70年）と並んだ。

原油価格：在庫増加などから下落基調



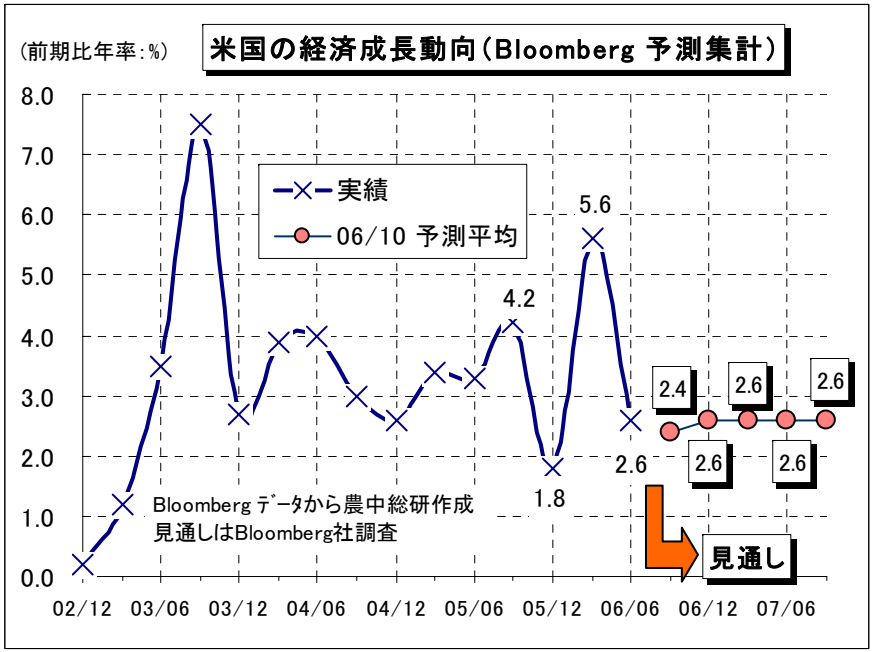


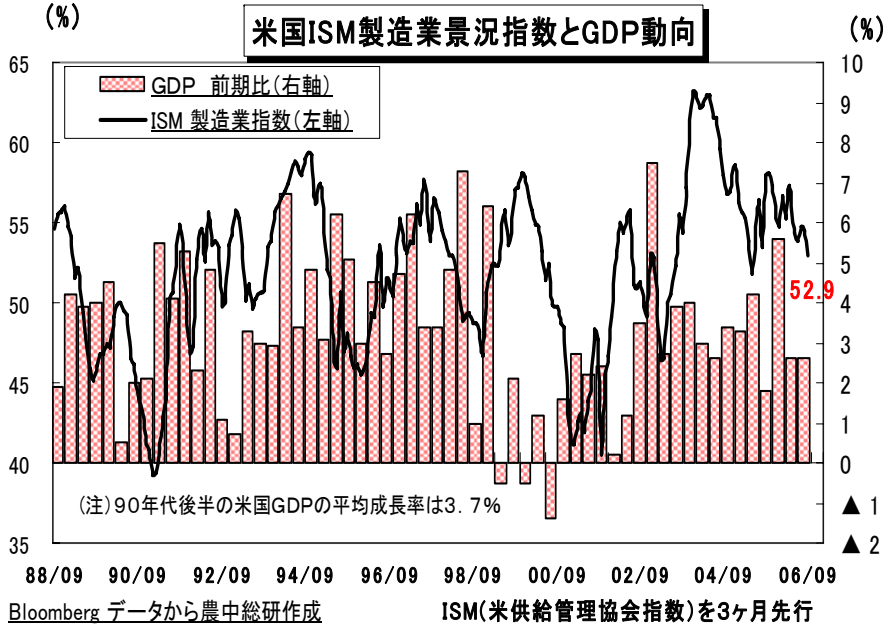
•ニューヨーク原油先物価格(WTI期近、終値)は、7月14日にイスラエルのレバノン侵攻を含め中東情勢の悪化から77.03ドル/バレルと史上最高値を更新した。しかし、その後は米国の成長減速観測が広がるなか、米ドライブシーズン終了でガソリン需要がピークを越え、在庫が増加したことなどから下落基調が続き、10月20日には56.82/バレルと約8ヶ月ぶりの安値となった。

•ただし、イラン核開発問題をめぐる協議が混迷しているほか、OPECによる減産強化の可能性もあり、再上昇するリスクもある。

•当面は、①中国、インドなどの新興国の需要増加から中期的な需給引き締り観測、②OPECの高めの価格政策指向、③中東情勢とテロ懸念などから、原油価格の高止まりが予想される。

米国経済①：先行き+2%台半ばの緩やかな成長との見方強まる

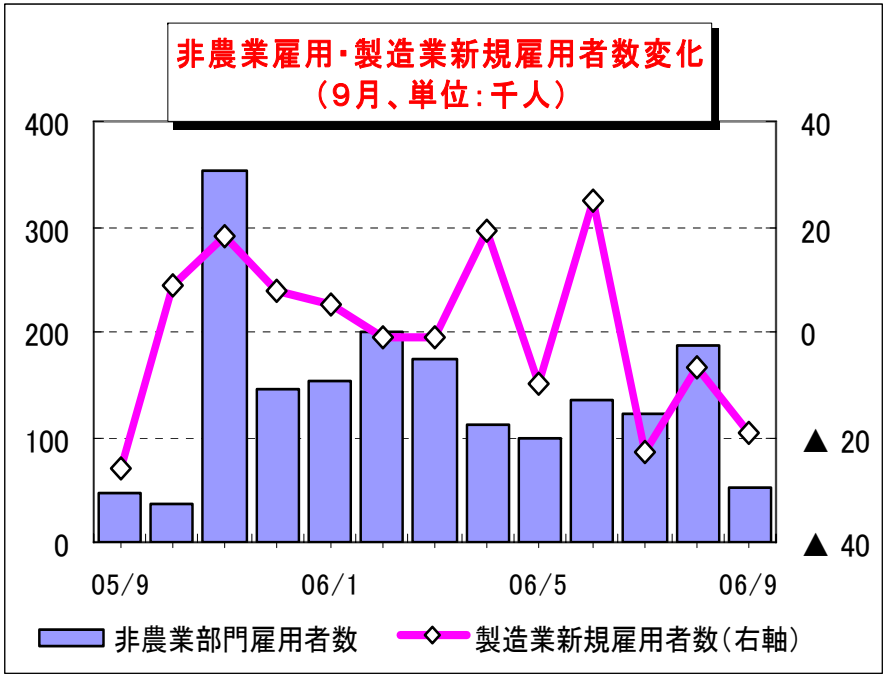


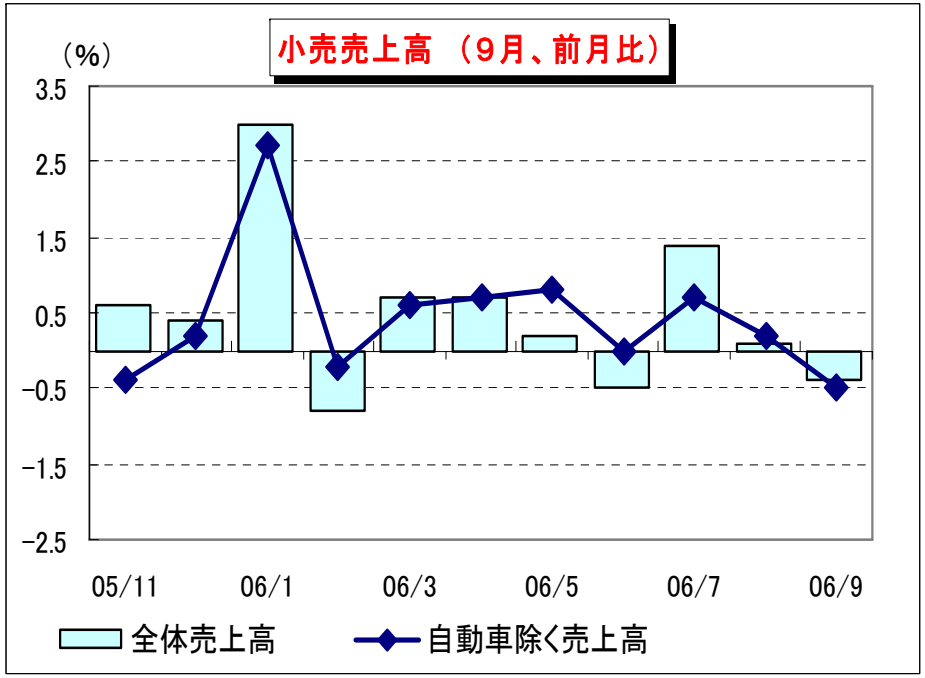


•米国の06年4～6月期の実質GDP（確定値）は、前期比年率+2.6%となり、改定値から0.3ポイント下方修正された。住宅投資が▲11.1%と1995年4～6月（▲12.2%）以来11年ぶりの減少率を示したことなどが主因。4～6月期の成長率は1～3月期の同+5.6%から大幅に減速。潜在成長率を下回り、ハリケーン被害の影響を受けた05年10～12月期（同+1.8%）以来の低水準となった。06年10月調査によれば米国エコノミストは、過去17回にわたる利上げ効果が浸透し、今後は2%台半ばの緩やかな成長が続くと見込んでいる。

•代表的な企業の景況感指標であり、景気先行指標でもある「全米供給管理協会（ISM）製造業指数」は、9月に52.9と前月（54.5）を下回り、市場予想も下回った。ただし、景気判断の分かれ目となる50を41ヶ月連続で上回っている。9月は仕入れ価格指数が61.0（前月は73.0）と低下し、物価上昇圧力が緩和した。

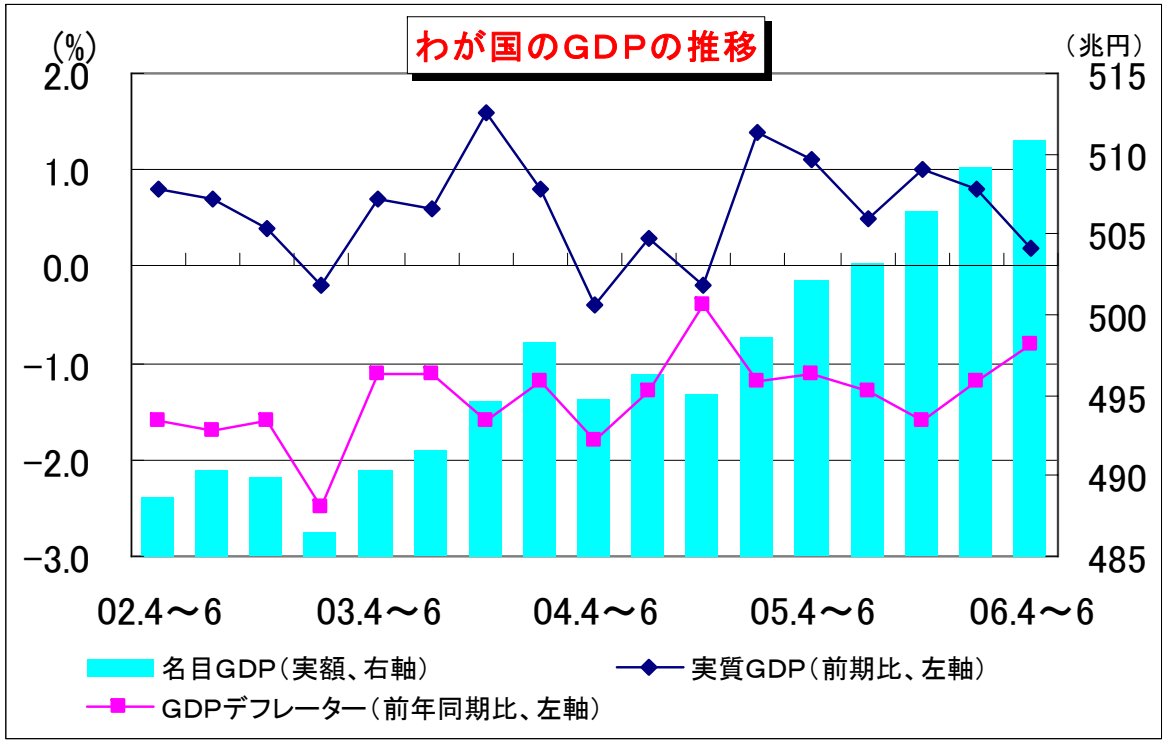
米国経済②：雇用者数が減速傾向、9月小売売上は反落





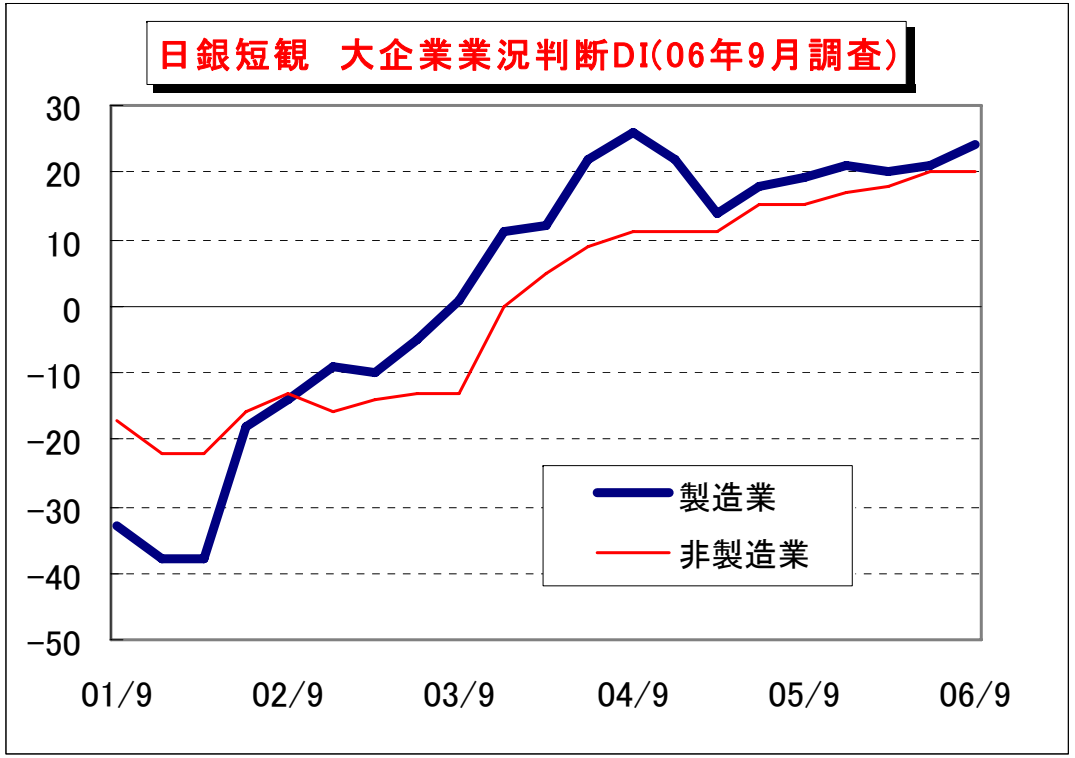
- 9月の米雇用統計では、非農業部門雇用者数が市場予想を大きく下回る51千人に留まり、減速傾向が継続。米景気を牽引する小売業や製造業が弱い。8月は128千人→ 188千人と大幅に上方修正されたが、6ヶ月移動平均では＋118千人まで落ちてきた。雇用環境を悪化させないために必要な目安（150千人）を割り込んでいる。一方、平均時給は16.84ドルと、前月から0.2%増加し伸びが継続している。
- 9月の全体売上高は前月比▲0.4%と、前月の同＋0.1%から伸びが鈍化し、3ヶ月ぶりにマイナスとなった。変動の大きい自動車を除くベースでも前月比▲0.5%と3ヶ月ぶりのマイナス。原油価格の反落からガソリン価格が低下しており、先行き消費にとってはプラス要因となる。

国内の経済成長率：6四半期連続のプラス成長



- 06年4～6月期の実質GDP成長率（2次速報）は前期比＋0.2% と、1次速報（同＋0.2% ）と変わらず、6四半期連続のプラス成長。前期比年率換算では＋1.0%と、1次速報（同＋0.8%）から上方修正された。ただし、成長率は2四半期連続で鈍化が見られる。
- 内容としては、民間消費・設備投資など民間最終需要は堅調さを維持したが、民間在庫の大幅減や輸出の伸び鈍化などにより、全体の成長率は低調なものとなっている。
- 一方、ホームメイド・インフレを示すとされるGDPデフレーターは、1次速報（前年同期比▲0.8%）と変わらず。大きめのマイナスが残っているが、下落率は縮小傾向が続いている。ただし、前期比では3年ぶりにプラスに転じており、国内企業の価格転嫁も進展し始めている様子が窺える。年度内には前年同期比のマイナスも解消し、プラスに転じる可能性が高い。

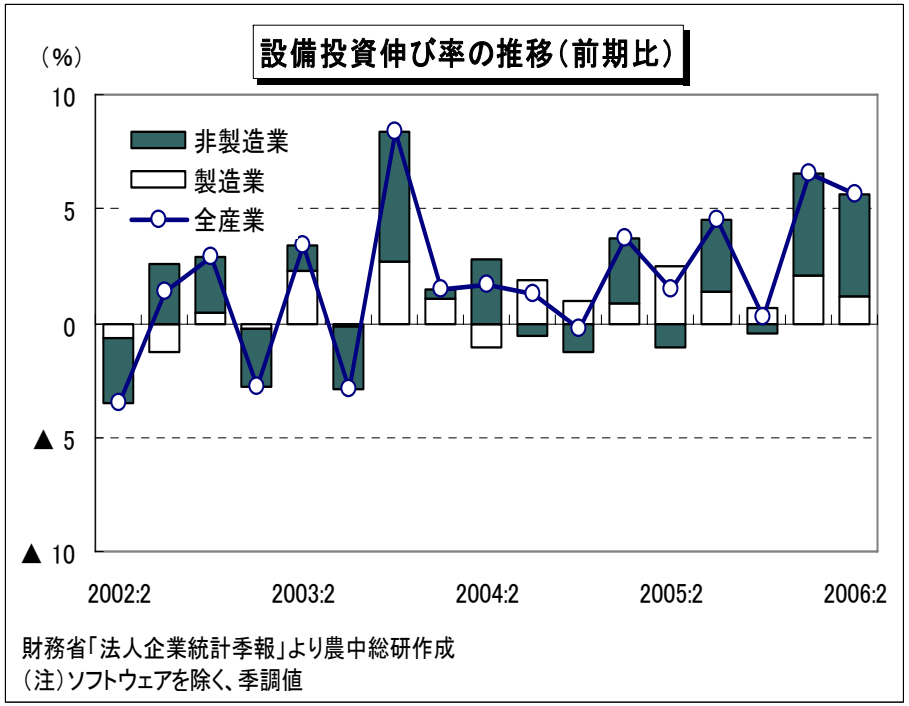
国内企業の景況感：短観9月調査は2期連続の改善



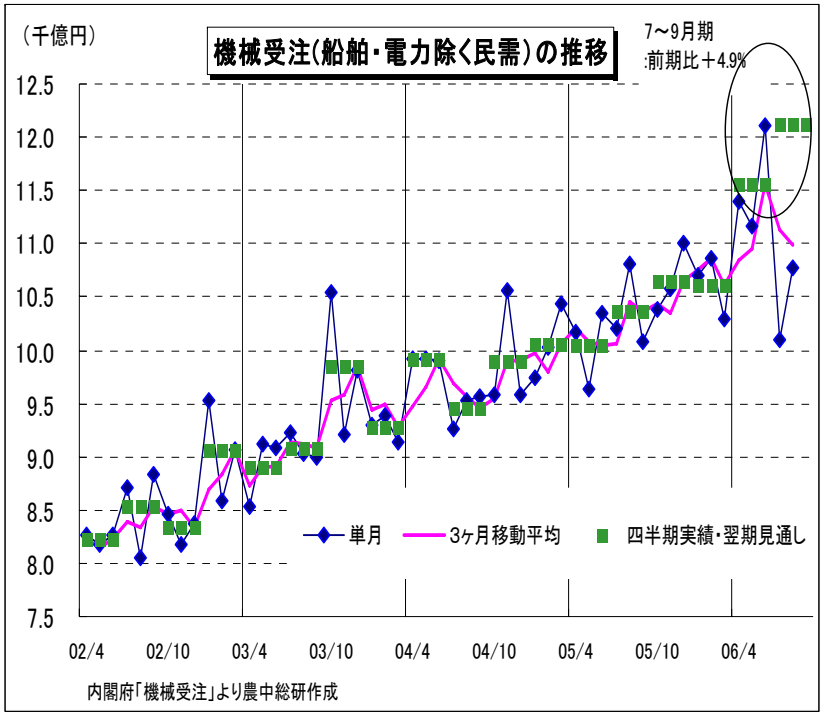
・9月調査では、業況判断DIが大企業製造業で＋24と、前回6月調査から3pt改善（2期連続）。一方、大企業非製造業は＋20と横ばい。堅調な需要のほか、円相場が主要通貨全体に対して下げ、円安基調が続いていることが業況の改善につながった。設備投資は引き続き高水準であり、雇用判断も人員不足の回答が拡大している。

・先行き12月は米経済の減速などを背景に大企業製造業で▲3pt悪化する見通し。一方、大企業非製造業は1pt改善する見通しだが、米経済の減速やハイテク関連分野での在庫調整に対する懸念もあり、先行きを慎重にみている企業が多い。

国内の民間企業設備投資：06年内は増勢が続く見通し



財務省「法人企業統計季報」より農中総研作成
（注）ソフトウェアを除く、季調値

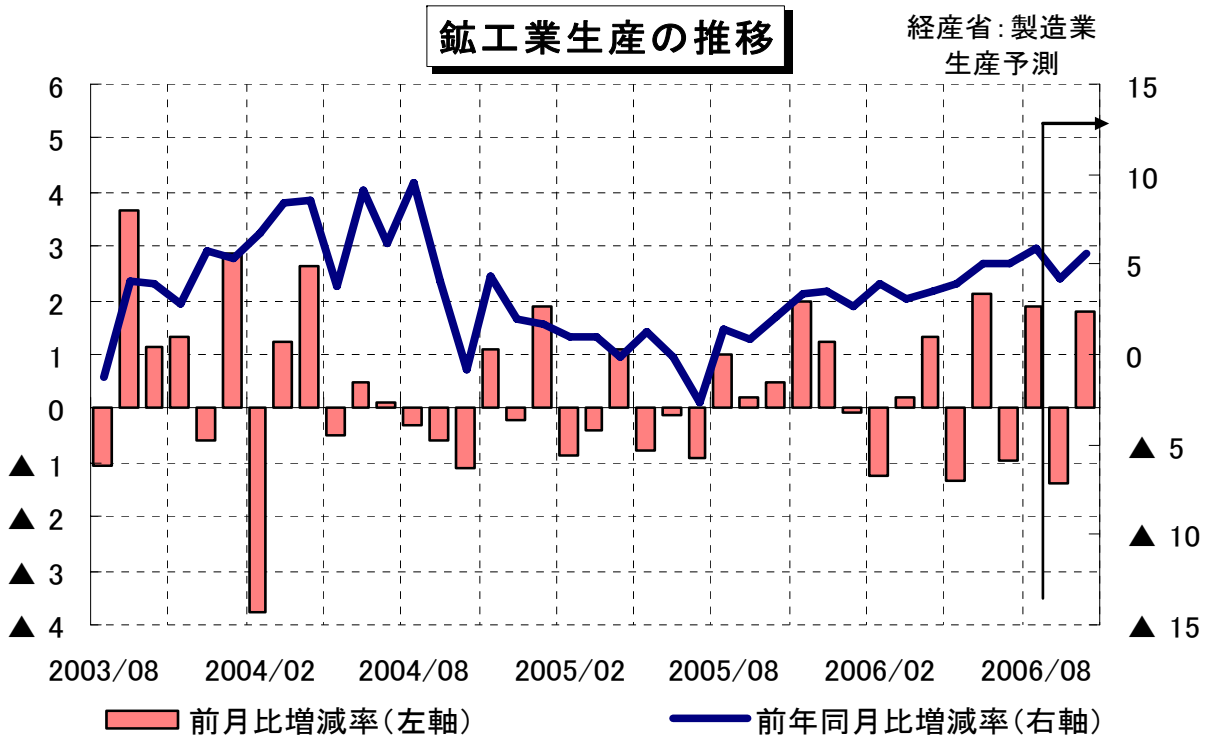


内閣府「機械受注」より農中総研作成

・06年4～6月期の法人企業統計季報では、設備投資（除くソフトウェア）が前期比＋5.7%と、6期連続で前期を上回った。また、日銀短観（9月調査）の06年度設備投資計画（土地投資額を含む）は前年度比＋8.3%と、前回6月調査時点から2.1ポイント上方修正された。

・また、設備投資の先行指標である機械受注（船舶・電力を除く民需）は、4～6月期が前期比+8.9%と2四半期ぶりのプラスとなった。しかし、7月は前月比▲16.7%と2ヶ月ぶりのマイナスで過去最大の下落率。8月は同＋6.7%となったものの、事前予想を下回る水準。内閣府によれば、7～9月期は同+4.9%と引き続き増加する見通しとなっているが、7月の大幅減から見通し達成は困難とみられ、一部ではピークアウト感も意識され始めている。

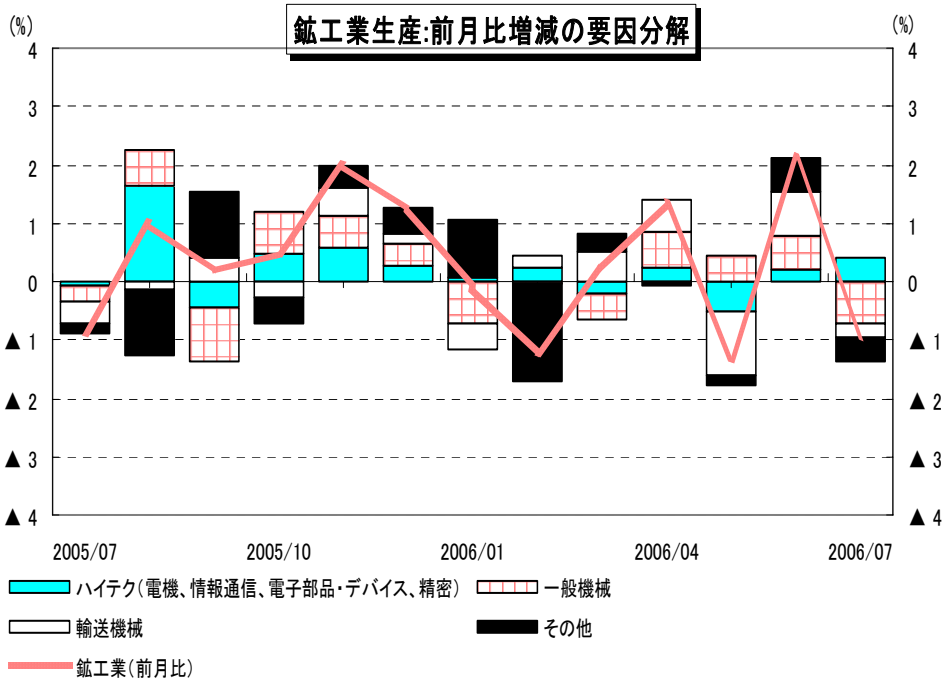
鉱工業生産①：先行き大幅増を見込んでいるが・・・



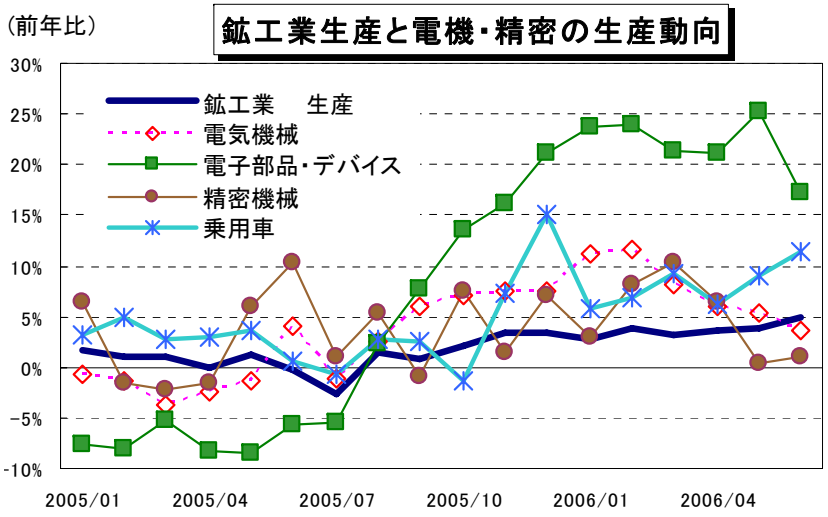
資料　経済産業省「鉱工業生産」
（注）予測は、製造工業生産予測調査の当月見込みと翌月見込みの季節調整済増減率

- 8月の鉱工業生産指数（確報）は前月比＋1.8%の106.8と、2ヶ月ぶりのプラス。2000年基準の現行指数では今年6月を上回って過去最高となった。経産省では「総じてみれば、生産は上昇傾向にある」と、前月の判断を維持している。
- 製造工業生産予測調査では、9月は輸送機械や電気機械などの輸出減により同▲0.1%と低下するが、10月は輸送機械などが持ち直し同＋1.8%と上昇することが見込まれている。ただし先行きは、IT関連財の在庫調整により生産が抑制される恐れがあるほか、米経済の減速による輸出の伸び悩み懸念など、決して楽観視できる状況にはない。

鉱工業生産②：ハイテク関連の伸びが鈍化



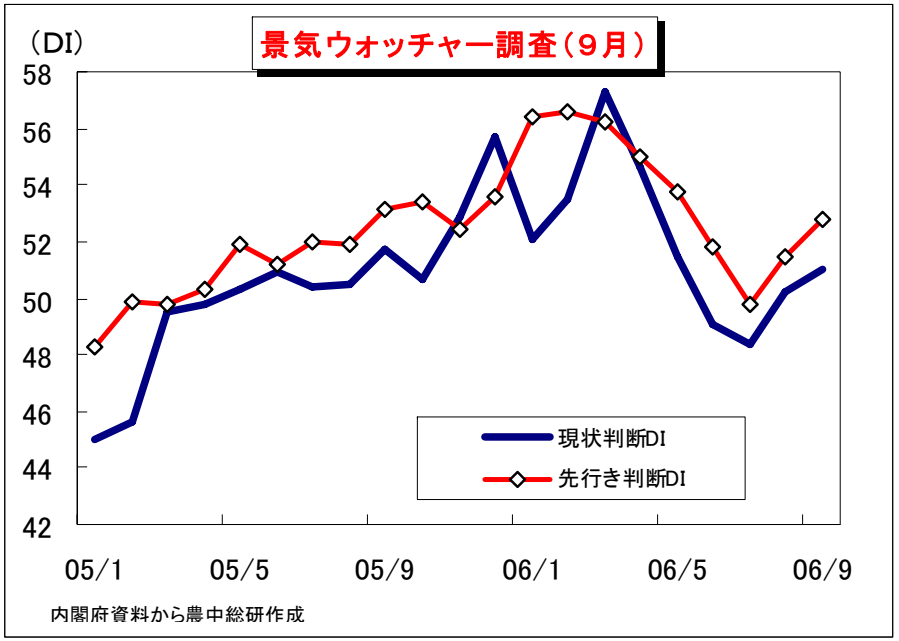
経産省「鉱工業生産」から農中総研作成（注）季節調整済値

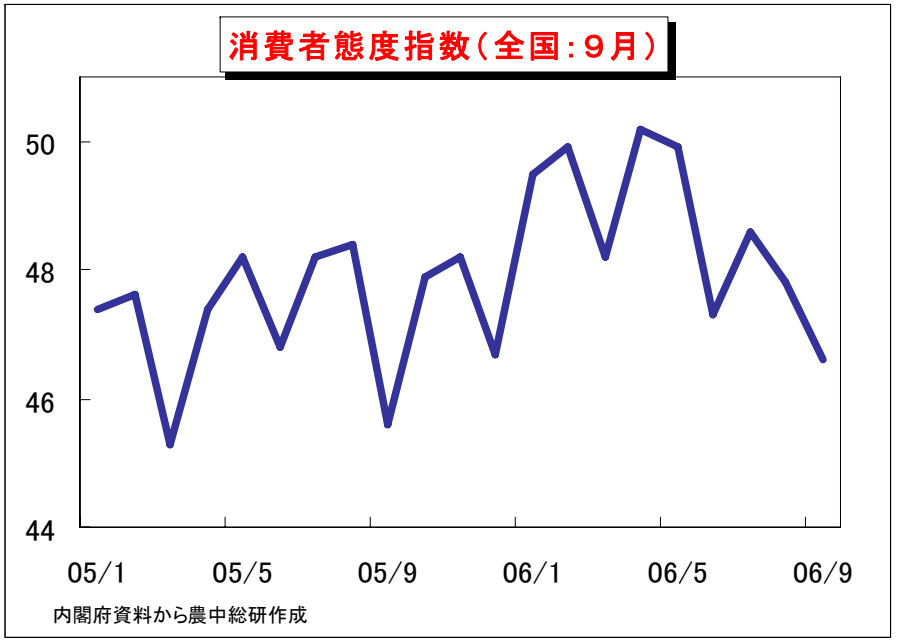


経産省「鉱工業生産」から農中総研作成

- 業種別の動向を見ると、8月は化学工業（除．医薬品）、鉄鋼業、窯業・土石製品工業などが低下した一方、輸送機械工業、電子部品・デバイス工業、電気機械工業などが上昇した。
- 品目別では、普通乗用車、鉄道車両、半導体集積回路、電子回路基板、セパレート形エアコンなどの生産が増加した。
- 一方、電子部品・デバイス等ハイテク関連業種の生産は前年比プラス基調が継続。ただし、IT関連製品の在庫が積み上がっていることもあり、その動向には注意が必要。

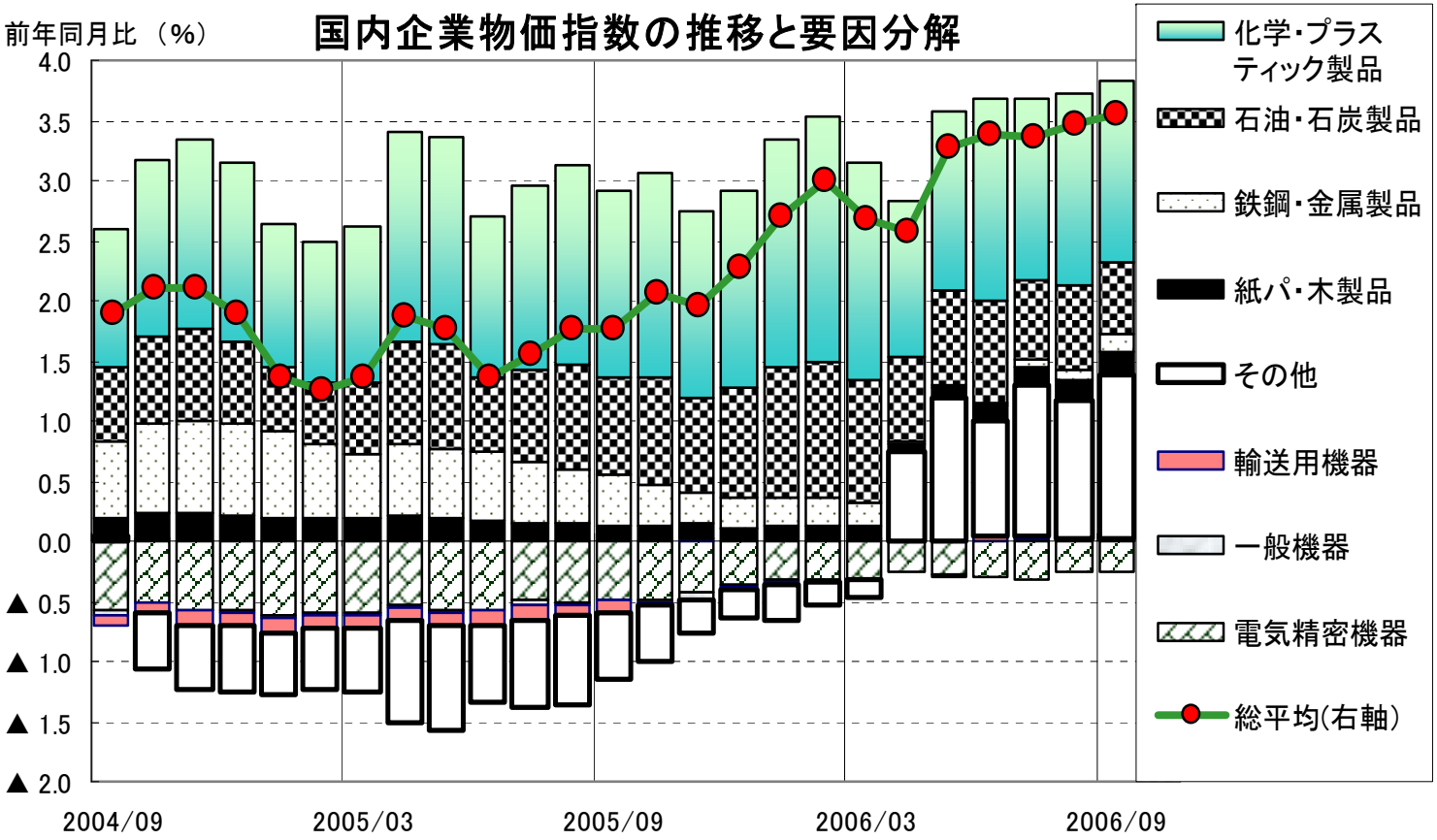
個人消費：消費者マインドは一部で持ち直しの動き





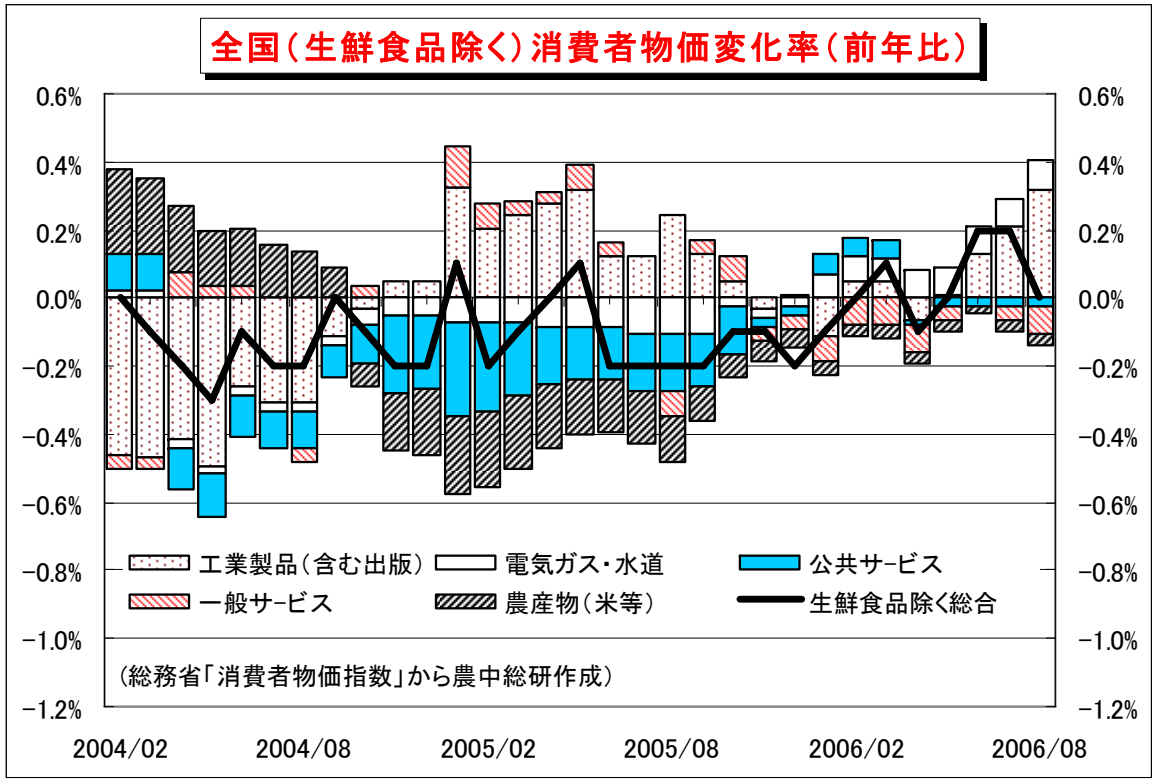
- ９月の景気ウォッチャー・現状判断DIは、前月比＋0.8ptの51.0と、2ヶ月連続で上昇し、景気判断の境目となる50を2ヶ月連続して上回った。天候の回復や原油価格の落ち着きなどにより家計、企業、雇用部門がいずれも改善した。また、先行き判断DIも、同＋1.3ptの52.8と2ヶ月連続で上昇した。
- 一方、家計の消費意欲を示す9月の消費者態度指数（全国・総世帯）は46.6と、前月から▲1.2pt低下した。悪化は2ヶ月連続。暮らし向き、収入、雇用環境、耐久財の買い時判断とも悪化した。ただし、前年比では雇用環境が改善したことから+1.0ptと2ヶ月ぶりに改善。

企業物価：最終財への価格波及も進展する兆し



- 9月の企業物価は、国際商品相場の上昇を受けて鉄鋼やプラスチック製品などが上昇したことから、前月比+0.3%と3ヶ月連続の上昇。前年比では+3.6%と前月の+3.4%から伸びが拡大した。
- 9月は国内生産の消費財が前年比＋0.7%と、前月の＋0.2%からプラス幅が拡大した。素原材料価格の上昇や為替レートが円安気味で推移するなど、企業物価上昇の主因である状況は変わりはないが、徐々に川上・川中から川下への価格波及も進展する兆しが見え始めた。

消費者物価：2005年基準への改訂で前年比プラス幅は縮小



・　消費者物価は8月発表分から基準年次の改訂（2000年基準→2005年基準）を行った。これに伴って06年1～7月については前年比上昇率が▲0.5%pt程度押し下げられたが、市場予想（▲0.2～▲0.3%pt）よりも大幅な下方改訂となり、早期利上げ観測は大きく後退した。

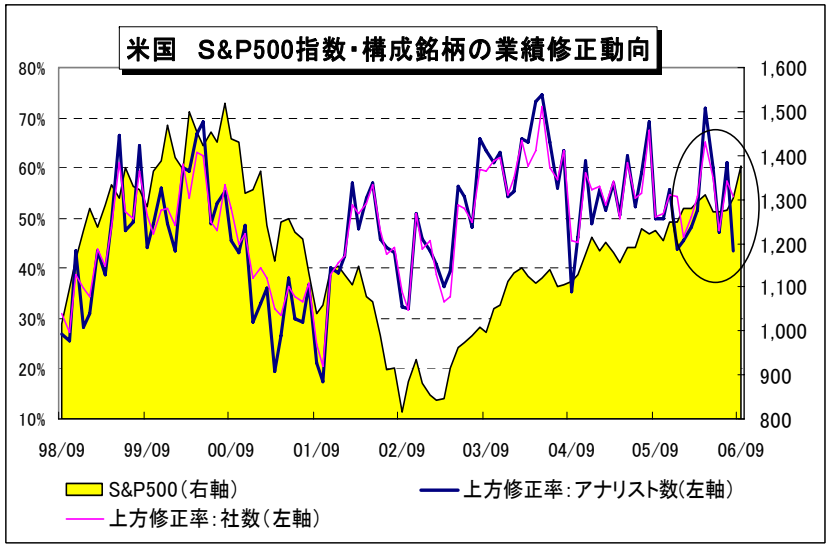
・　8月の消費者物価（除く生鮮食品）は前年比＋0.3%と、3ヶ月連続で前年比プラスとなり、上昇幅が拡大した。原油高を背景に灯油やガソリン（レギュラー）の上昇が続き、物価を押し上げた。なお、欧米方式でのコアCPIである「食料（除く酒類）・エネルギーを除く総合」は前年比▲0.4%と依然として水面下での推移。価格下落の激しいハイテク家電などの影響を大きく受けているものと思われる。

・　しかし、日銀は「物価は上昇基調」との見解であり、10月短観が大企業製造業を中心に堅調だったこともあり、10月31日に発表される「経済・物価情勢の展望」レポートの内容を見極めた上で、早期追加利上げに動くとの観測も根強い。

長期金利：新発10年国債利回り、1.8%台に小幅上昇

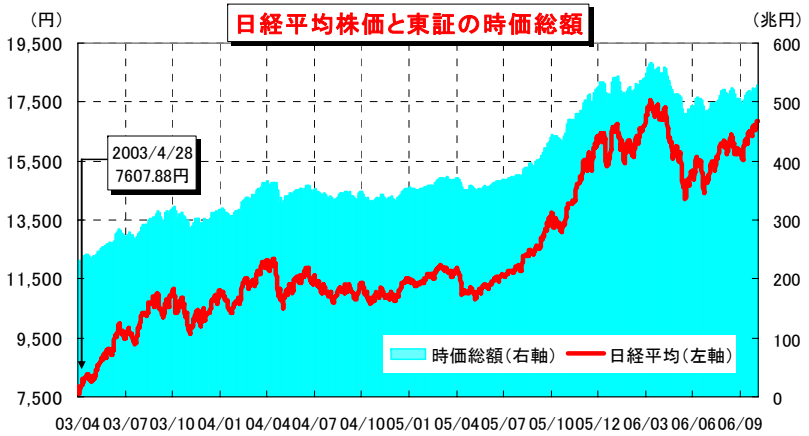
- 長期金利の目安である新発10年国債利回りは、06年明け以降、量的緩和政策解除の思惑の高まりから、金利水準全体が上昇するとの観測が織り込まれ上昇傾向が強まった。
- 量的緩和政策が解除された3月9日以降は急速に上昇し、5月中旬には一時2.0%台を上回る場面もあったが、その後は1.9%前後でのもみ合いとなった。
- 7月14日に日銀はゼロ金利政策解除を決定したが、「今後の金利調節はゆっくりと行う」との日銀からのメッセージを受けて、追加利上げ時期が後ズレしたため、長期金利は落ち着いた動きとなった。
- 8月25日の消費者物価の基準改訂を受けて、早期利上げ観測は更に後退、長期金利は一時1.6%をつけるなど、金利水準は全般的に低下傾向を続けた。しかし、足元では日銀による追加利上げの可能性や株価上昇などもあり、1.8%に小幅上昇して推移している。

株価：7月中旬以降は戻り基調、日経平均16,800円付近まで回復



（兆円）

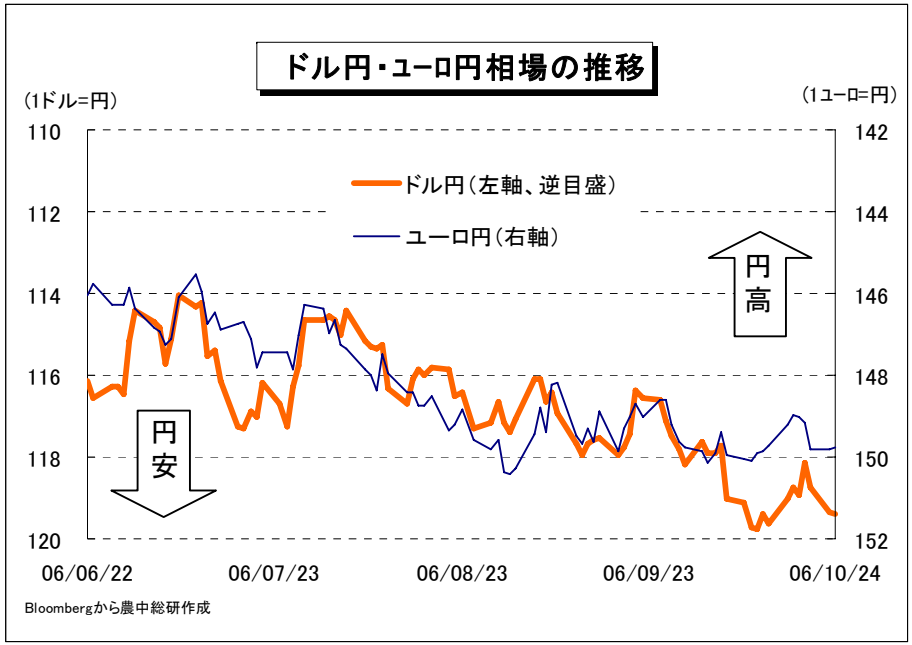
直近の時価総額	2006/10/23 527.63	前年度末(06年3月末)比 ▲ 20.6
バブル崩壊後最安値の時価総額	2003/4/28 228.50	バブル崩壊後最安値比 299

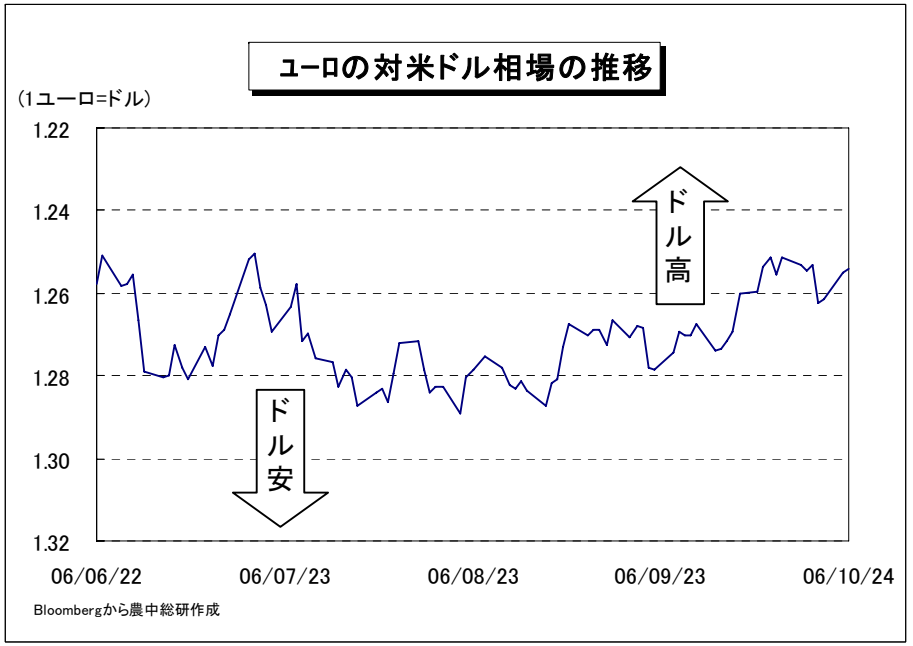


Bloombergから農中総研作成

- 米株式市場は、企業の好決算に加え、インフレ指標の落ち着きや住宅市場に底打ちの兆しが見えてきたことなどを背景に、ダウ工業株30種平均が10月下旬に史上初となる1万2000ドルの大台に乗せた。S&P500も10月下旬に1377.02と、およそ6年ぶり（00年10月：1429.4）の高値となった。
- 米アナリスト対象の9月の業績修正指数は小幅低下したものの、上方修正社数は54.4%と過半を占めており、先行きも米株価の底堅い展開が予想される。
- 一方、わが国の直近の時価総額は、バブル崩壊後の最安値時に比べ約299兆円増加し、528兆円（10月23日現在）となっている。
- 日経平均株価は、新年度入り直後は景気回復の継続や企業収益の拡大等を背景に続伸し、一時17,500円台（4月7日）まで上昇したが、その後は世界的な過剰流動性解消の動きや米経済・金融政策に対する先行き不透明感などを背景に調整が進み、6月中旬には14,200円台まで下落。なお、このところは企業の好業績など背景に持ち直しの動きが見られ、16,500～16,800円で推移している。

為替動向：米経済の軟着陸シナリオからドル高・円安基調で推移





・ 外国為替市場では、米景気減速観測の一方、日銀の追加利上げ観測の後退に加え、北朝鮮による地下核実験に絡む地政学リスクの高まりもあり、10月9日の地下核実験を実施直後には、一時1ドル＝120円目前まで円安が急進する場面があった。しかし、その後は、米経済指標が一部好調となったことなど米経済の軟着陸期待が強まった一方、日銀の追加利上げ観測が再台頭したこともあるが、強弱要因交錯するなか、118円～119円台で推移している。

・ ユーロ・ドル相場は、ユーロ圏の金利先高観やドル資産回避の動きも見られ、5月15日には一時1ユーロ＝1.2972ドルと年初来高値を更新。このところは1.25ドル台と小安く推移している。

政府、日銀の景気判断：政府・日銀とも判断据え置き

年　月		政府月例報告		日銀金融経済月報	
2005年	10月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
	11月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
	12月	→	緩やかに回復している	→	回復を続けている
2006年	1月	→	緩やかに回復している	↗	着実に回復を続けている
	2月	↗	回復している	→	着実に回復を続けている
	3月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	4月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	5月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	6月	→	回復している	→	着実に回復を続けている
	7月	→	回復している	↗	穏やかに拡大している
	8月	→	回復している	→	穏やかに拡大している
	9月	→	回復している	→	穏やかに拡大している
	10月	→	回復している	→	穏やかに拡大している

- 政府は、10月の月例経済報告で、「回復している」と景気の基調判断を8ヶ月連続で据え置き。小泉政権の下で最後となった前回の報告では、デフレ脱却を認定することは出来なかったが、政策の基本的態度を前月までの「デフレからの脱却を確実なものとし」から「物価の安定基調を確実なものとし」に変更するなど、約5年半ぶりに「デフレ」の文言を全面削除した。
- 日銀も、10月の金融経済月報で、「穏やかに拡大している」と前月の判断を据え置き。02年2月に始まった今回の景気拡大は06年10月で57ヶ月目となり、戦後最長のいざなぎ景気（1965-70年）と並んだ。

内外金融市場データ:

項目 / 日付	長期金利				短期金利					外国為替			内外株価指数				海外金利			その他		
	新発10年国債利回	債先10年物期近価格	みずほコーポ新発5年金融債利回	金利スワップレート5年物（円－円）仲値	無担保コール翌日物	TIBORユーロ円3ヵ月	LIBOR円3ヵ月	TIBORユーロ円6ヵ月	金利先物（利回り）中心限月	円ドル・スポットレート	ユーロ・ドル・スポットレート	ユーロ円スポットレート	日経平均（225種）	TOPIX終値	NYダウ工業株30種平均	ナスダック総合	米国財務省証券10年物国債利回	LIBORドル3ヵ月	独国10年物国債利回	NY金先物・期近	WTI期近	OPECバスケット価格
06/08/21	1.815	132.62	1.516	1.503	0.251	0.4350	0.415	0.5100	0.965	115.85	1.289	149.35	15,969.04	1,624.21	11,345.05	2,147.75	4.811	5.398	3.861	625.70	72.45	67.92
06/08/22	1.800	132.75	1.495	1.484	0.247	0.4350	0.417	0.5100	0.945	116.53	1.280	149.19	16,181.17	1,641.77	11,339.84	2,150.02	4.809	5.400	3.808	624.60	72.63	67.99
06/08/23	1.795	132.70	1.507	1.489	0.245	0.4350	0.417	0.5100	0.950	116.42	1.279	148.84	16,163.03	1,640.28	11,297.90	2,134.66	4.807	5.400	3.827	623.70	71.76	67.34
06/08/24	1.785	132.78	1.507	1.486	0.249	0.4350	0.419	0.5100	0.945	116.54	1.276	148.74	15,960.62	1,623.03	11,304.46	2,137.11	4.799	5.400	3.809	619.50	72.36	67.01
06/08/25	1.705	133.77	1.378	1.371	0.261	0.4340	0.399	0.5080	0.815	117.28	1.275	149.58	15,938.66	1,619.81	11,284.05	2,140.29	4.779	5.400	3.793	622.00	72.51	68.10
06/08/28	1.680	134.06	1.339	1.320	0.255	0.4330	休場	0.5000	0.785	117.18	1.278	149.80	15,762.59	1,600.25	11,352.01	2,160.70	4.791	休場	3.795	615.30	70.61	66.03
06/08/29	1.700	133.90	1.369	1.349	0.258	0.4330	0.398	0.4990	0.810	116.66	1.282	149.59	15,890.56	1,615.99	11,369.94	2,172.30	4.777	5.400	3.828	610.70	69.71	65.40
06/08/30	1.645	134.23	1.337	1.306	0.256	0.4300	0.401	0.4950	0.790	117.16	1.283	150.37	15,872.02	1,612.66	11,382.91	2,185.73	4.751	5.400	3.801	620.20	70.03	65.00
06/08/31	1.620	134.59	1.290	1.249	0.266	0.4320	0.401	0.4940	0.750	117.40	1.281	150.42	16,140.76	1,634.46	11,381.15	2,183.75	4.726	5.398	3.760	628.20	70.26	65.18
06/09/01	1.640	134.51	1.304	1.263	0.256	0.4320	0.405	0.4930	0.770	117.09	1.284	150.29	16,134.25	1,633.35	11,464.15	2,193.16	4.724	5.391	3.745	626.60	69.19	65.35
06/09/04	1.680	134.23	1.346	1.292	0.253	0.4330	0.407	0.4940	0.805	116.08	1.287	149.42	16,358.07	1,649.32	休場	休場	4.724	5.390	3.748	休場	休場	64.13
06/09/05	1.685	134.12	1.370	1.315	0.239	0.4330	0.410	0.4940	0.830	116.07	1.282	148.79	16,385.96	1,651.35	11,469.28	2,205.70	4.779	5.390	3.787	640.70	68.60	63.54
06/09/06	1.700	134.19	1.361	1.308	0.241	0.4330	0.410	0.4970	0.830	116.65	1.281	149.39	16,284.09	1,642.82	11,406.20	2,167.84	4.795	5.390	3.831	635.60	67.50	63.27
06/09/07	1.700	134.13	1.351	1.304	0.257	0.4330	0.410	0.4980	0.825	116.43	1.273	148.21	16,012.41	1,613.46	11,331.44	2,155.29	4.785	5.390	3.817	618.90	67.32	62.74
06/09/08	1.715	133.84	1.384	1.344	0.256	0.4350	0.413	0.4990	0.840	116.94	1.267	148.20	16,080.46	1,619.92	11,392.11	2,165.79	4.771	5.390	3.787	611.40	66.25	62.04
06/09/11	1.665	134.55	1.314	1.280	0.260	0.4350	0.411	0.4990	0.770	117.67	1.270	149.47	15,794.38	1,596.50	11,396.84	2,173.25	4.801	5.390	3.803	591.60	65.61	60.70
06/09/12	1.705	134.40	1.338	1.293	0.256	0.4350	0.414	0.4970	0.775	117.96	1.269	149.66	15,719.34	1,585.98	11,498.09	2,215.82	4.769	5.390	3.839	588.50	63.76	60.37
06/09/13	1.670	134.60	1.312	1.266	0.274	0.4350	0.416	0.4970	0.765	117.68	1.269	149.32	15,750.05	1,583.55	11,543.32	2,227.67	4.759	5.390	3.790	590.50	63.97	58.95
06/09/14	1.665	134.50	1.317	1.276	0.280	0.4350	0.416	0.4980	0.765	117.59	1.272	149.63	15,942.39	1,598.13	11,527.39	2,228.73	4.789	5.390	3.792	580.40	63.22	59.22
06/09/15	1.655	134.58	休場	1.268	0.249	0.4350	0.418	0.5000	0.765	117.55	1.267	148.87	15,866.93	1,593.43	11,560.77	2,235.59	4.788	5.390	3.776	577.50	63.33	58.45
06/09/18	休場	休場	休場	休場	休場	休場	0.416	休場	休場	117.95	1.271	149.87	休場	休場	11,555.00	2,235.75	4.804	5.390	3.831	587.20	63.80	58.67
06/09/19	1.695	134.22	1.341	1.308	0.266	0.4350	0.420	0.5010	0.885	117.76	1.268	149.30	15,874.28	1,591.98	11,540.91	2,222.37	4.733	5.390	3.780	577.70	61.66	58.85
06/09/20	1.675	134.60	1.300	1.266	0.278	0.4360	0.421	0.5000	0.845	117.46	1.269	149.00	15,718.67	1,570.18	11,613.19	2,252.89	4.729	5.387	3.773	580.80	60.46	56.54
06/09/21	1.695	134.46	1.315	1.286	0.253	0.4360	0.428	0.5020	0.860	116.38	1.278	148.71	15,834.23	1,580.08	11,533.23	2,237.75	4.636	5.389	3.752	582.90	61.59	N.A.
06/09/22	1.620	135.00	1.261	1.232	0.254	0.4360	0.428	0.5000	0.805	116.56	1.278	149.00	15,634.67	1,563.60	11,508.10	2,218.93	4.589	5.371	3.694	590.00	60.55	56.12
06/09/25	1.615	134.99	1.254	1.229	0.242	0.4360	0.424	0.5010	0.785	116.60	1.275	148.62	15,633.81	1,559.78	11,575.81	2,249.07	4.542	5.368	3.663	590.40	61.45	54.92
06/09/26	1.630	135.31	1.225	1.196	0.247	0.4360	0.425	0.5000	0.770	117.11	1.269	148.61	15,557.45	1,549.41	11,669.39	2,261.34	4.583	5.364	3.658	591.60	61.01	55.86
06/09/27	1.645	135.00	休場	1.240	0.255	0.4370	0.425	0.5010	0.810	117.49	1.270	149.22	15,947.87	1,591.04	11,689.24	2,263.39	4.598	5.367	3.672	597.60	62.96	55.90
06/09/28	1.655	135.01	1.280	1.243	0.263	0.4350	0.429	0.5040	0.820	117.81	1.270	149.64	16,024.85	1,602.57	11,718.45	2,270.02	4.612	5.372	3.689	605.00	62.76	N.A.
06/09/29	1.670	134.80	1.299	1.263	0.339	0.4360	0.426	0.5070	0.825	118.18	1.267	149.76	16,127.58	1,610.73	11,679.07	2,258.43	4.628	5.370	3.709	598.60	62.91	57.49
06/10/02	1.725	134.22	1.353	1.328	0.266	0.4370	0.430	0.5090	0.865	117.64	1.274	149.85	16,254.29	1,625.12	11,670.35	2,237.60	4.600	5.370	3.690	597.70	61.03	57.23
06/10/03	1.695	134.61	1.313	1.290	0.262	0.4370	0.430	0.5090	0.835	117.92	1.273	150.13	16,242.09	1,617.84	11,727.34	2,243.65	4.614	5.370	3.735	576.30	58.68	55.27
06/10/04	1.720	134.56	#N/A N	1.285	0.248	0.4370	0.429	0.5100	0.825	117.91	1.272	149.92	16,082.55	1,601.99	11,850.61	2,290.95	4.559	5.370	3.697	562.00	59.41	54.19
06/10/05	1.730	134.44	1.323	1.302	0.244	0.4370	0.426	0.5070	0.840	117.71	1.269	149.40	16,449.33	1,633.20	11,866.69	2,306.34	4.604	5.368	3.711	571.00	60.03	55.07
06/10/06	1.705	134.66	1.323	1.286	0.239	0.4370	0.426	0.5070	0.835	119.01	1.260	149.96	16,436.06	1,634.21	11,850.21	2,299.99	4.694	5.370	3.752	572.40	59.76	55.13
06/10/09	休場	134.73	休場	休場	休場	休場	0.428	休場	休場	119.11	1.260	150.03	休場	休場	11,857.81	2,311.77	4.694	5.370	3.760	578.40	59.96	55.52
06/10/10	1.720	134.51	1.328	1.305	0.253	0.4380	0.430	0.5100	0.855	119.72	1.254	150.10	16,477.25	1,634.83	11,867.17	2,315.43	4.752	5.372	3.811	571.90	58.52	55.31
06/10/11	1.740	134.20	1.357	1.334	0.260	0.4380	0.431	0.5100	0.875	119.78	1.252	149.90	16,400.57	1,622.07	11,852.13	2,308.27	4.778	5.373	3.808	572.30	57.59	54.25
06/10/12	1.745	134.20	1.351	1.334	0.269	0.4380	0.433	0.5090	0.880	119.38	1.256	149.86	16,368.81	1,613.64	11,947.70	2,346.18	4.770	5.374	3.803	576.30	57.86	54.19
06/10/13	1.775	133.90	1.379	1.366	0.263	0.4380	0.436	0.5100	0.905	119.64	1.251	149.71	16,536.54	1,628.00	11,960.51	2,357.29	4.798	5.374	3.832	588.80	58.57	54.90
06/10/16	1.790	133.52	1.430	1.419	0.263	0.4380	0.435	0.5110	0.945	119.04	1.253	149.20	16,692.76	1,646.05	11,980.60	2,363.84	4.776	5.374	3.830	594.70	59.94	55.34
06/10/17	1.795	133.64	1.420	1.410	0.258	0.4380	0.437	0.5130	0.945	118.75	1.255	148.96	16,611.59	1,637.95	11,950.02	2,344.95	4.766	5.374	3.800	589.70	58.93	56.17
06/10/18	1.800	133.52	1.439	1.423	0.258	0.4380	0.444	0.5150	0.965	118.92	1.253	149.03	16,653.00	1,638.74	11,992.68	2,337.15	4.754	5.374	3.817	588.90	57.65	55.27
06/10/19	1.800	133.49	1.459	1.443	0.259	0.4410	0.448	0.5170	0.995	118.15	1.262	149.17	16,551.36	1,635.77	12,011.73	2,340.94	4.782	5.374	3.841	599.00	58.50	54.56
06/10/20	1.795	133.56	1.459	1.432	0.258	0.4430	0.449	0.5210	0.980	118.73	1.262	149.82	16,651.63	1,644.15	12,002.37	2,342.30	4.786	5.376	3.839	593.00	56.82	N.A.
06/10/23	1.835	133.27	1.468	1.458	0.244	0.4430	0.450	0.5220	0.990	119.34	1.255	149.80	16,788.82	1,659.39	12,116.91	2,355.56	4.828	5.377	3.877	579.70	58.81	N.A.
06/10/24	1.815	133.51		1.431		0.4440		0.5260	0.955	119.49	1.254	149.80					4.824		3.864			

(Bloomberg データから農中総研作成)　最終日は13:30現在

農林中金総合研究所

無断転載を禁ず。本資料は情報提供のみを目的に作成されたものです。投資のご判断等はご自身の責任でお願いいたします。

©2006 Norinchukin Research Institute Co.,Ltd

〒100-0004東京都千代田区大手町1-8-3

(株)農林中金総合研究所 調査第2部

℡03-3243-7366